

第2回恵庭市市民活動支援制度審査会 結果報告

1. 審査日時 2026年6月26日（金）10時00分～11時25分
2. 場 所 市民活動センター 1階 会議室4

3. 審査員

委員長	市民活動コーディネーター	水野 みどり	出席
副委員長	企画振興部次長	山本 顕	欠席
委員	総務部財務室長	北田 元樹	出席
委員	教育部次長	黒氏 優子	出席
委員	NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会理事	高橋 正彰	出席
委員	市民活動コーディネーター	小隅 麻美	欠席
委員	市民活動コーディネーター	浅野 小百合	欠席
委員	市民活動コーディネーター	中嶋 あゆみ	欠席
委員	市民活動コーディネーター	和田 光雄	出席
委員	市民活動コーディネーター	石山 香織	出席

※欠席委員は事前の書類審査を行った

※副委員長山本 顕 本人の都合により審査会及び書類審査に参加出来ず

4. 申請団体及び審査結果

① 恵庭国際交流プラザ（協働担当課：教育総務課、企画課）

事業名	外国ルーツのこどもの居場所づくり事業
事業概要	外国ルーツのこどもの学習伴走支援、家庭に対しては、学校の配布物等の内容確認の支援をする。長期休暇時に、息抜きとして「こどもお料理教室」を開催して交流を図る。
審査結果	く委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等> ・外国ルーツの子どもの居場所づくりに合わせて、親の交流機会もあればいいと思います。 ・年々増加する外国人住民に対する必要な事業だと思います。 ・外国からの子どもが増えている中、必要だと思う。 ・今、日本は外国人労働者なしでは社会的に回っていかない。外国人に気持ちよく暮してもらうため有意義です。 ・参加者も安定して来られていて、今後も期待出来ますね。頑張ってください。 ・同じような境遇にある子どもたち同士、恵庭市のなかで、市民と繋がりをもって、居場所をもてるということは、非常に大切なことだと感じる。子どもたちが安心して暮らせることが、最終的には、まち全体の安心にも繋がるのではないのでしょうか。 ・最近、外国の方が複数いる状況下、家庭との交流を深める手段として、良となり、恵庭愛が深まる機会となつてほしい。 ・子供は社会の宝物です。海外の方が日本に住み社会生活を送る上で、言葉や習慣の違いで子供達が孤立しないように学校以外でサポートする居場所はこれからますます必要となります。
採択	

② えにわ絵本ライブ実行委員会（協働担当課：読書推進課）

事業名	サトシン絵本よみまショー in えにわ
事業概要	絵本作家サトシン氏による参加型の絵本ライブを通して、子どもから大人までが絵本や読書の楽しさに触れる機会を提供する。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・交流のある作家と幅広い年齢の市民が本を通して触れ合うことが出来る貴重な場の提供と考えます。 ・読書推進、まちづくりの有効。 ・今回は子供を対象としているが、市民全員としているので、今後の活動を期待する。昨年、実施した成果を踏まえて前進すると思う。 ・去年参加しましたが、全世代が楽しめる絵本ショーでした。恵庭に愛着を持っているサトシンさんに恵庭をより元気にしてもらえんと思います。
採択	

③ 旅スル アグラクロック（協働担当課：企画課）

事業名	Agrac Rock World Festival
事業概要	恵庭のキャンプ場で、市内に住む若者や家族、外国人の人が集まり、バーベキューやサウナ、音楽ライブなどを楽しみ新しい繋がりをつくる。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・日本人、外国人問わず若い年代の結びつきを広めて欲しいと思います。 ・急増する外国籍住民に対する支援という観点からも有益な事業です。恵庭での楽しい機会創出により、今後恵庭に住み続けることを選んでももらえる一助になることを期待します。 ・外国人の方たちがもう少し多く参加出来る予算組を考えてもよいかと思っています。 ・外国人に気持ちよく恵庭で暮し働いてもらうために、市民レベルで企画実施してくれるのは大変良い事。 ・歌を通して、市民の交流を深める場を提供することは良とする。特に外国の方も対象にすることは望ましい。 ・若い方主導で、老若男女、国籍不問の楽しいフェスが恵庭で開かれるのは、恵庭をより好きになってもらえる良いきっかけになると思い応援したいです。
採択	

④ From E…（協働担当課：社会教育課）

事業名	えにわ音楽・芸術・フード応援フリーペーパー
事業概要	北海道の音楽・芸術・フードの情報を恵庭から発信していくフリーペーパー。フリーペーパー隔月発行、折込フライヤーは毎月発行。恵庭や近郊の情報を道内外に発信し魅力を伝えていく。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・ずっと続けて発行出来ていることは、素晴らしいと思います。デジタル時代だからこそ紙ベースも維持しつづけて欲しいと思います。 ・3 回目の実施ということで、過去の取り組み状況や反響を踏まえ、より効果的なものとなることを期待します。 ・市内情報が薄い、少し増やしても。 ・情報ツールはいくつあっても良い。 ・20 年間にわたり、活動を続けていくことは、簡単なことではないと思う。恵庭の魅力を、市内外で発信し続けることが、まちの価値が高まると思う。今後、補助金が終了したあとでも自走していけるような仕組みの導入も必要なのかなと感じました。 ・恵庭の情報発信ツールとなり、街への新規リピーターとなってもらえるような情報のレベルアップを期待する。 ・恵庭から情報発信するというチャレンジは応援したいのですが、何回か手にしましたが、誰に向けての情報誌なのか、身内の中で満足している感があり、公益性に疑問を持ちました。関連店からの広告費で賄えないでしょうか。
採択	

⑤ 遊暮働学きらくる村／BELUU（協働担当課：保健課）

事業名	土と暮らしの寺子屋 特別企画 未来へつなぐ食の知恵プロジェクト～ソーラーフードドライヤーを作ろう～
事業概要	地域の親子や市 j 民を対象に、食べ物大切さや保存の知恵を学ぶ食育ワークショップを開催。太陽の力を活用したソーラーフードドライヤーを制作し、自然エネルギーを活用した保存食づくりを体験する。保存技術や食品ロス削減について学ぶ。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・公益性が感じられない。 ・一部の人の利益となる部分が支出の大半を占めるため公益性に大きく欠けてしまうという点に改善が必要と考えます。 ・理念は素晴らしいが、事業に公益性が認められない。 ・目的は悪くないが、趣味的過ぎる。定員 6 人に市補助金使用はコスト悪すぎ。企画再考してほしい。 ・対象者が限られることが、公益性としていかなるものか。 ・志は良いと思いますが、多くの市民にその思いが届くのか、市の補助金が使われていいのか、再考をお願いしたいと思います。
不採択	